

八劔神社の神楽殿に飾られた
八つ縄文織りと水墨画の作品



八つ縄文織りと水墨画コラボ

諏訪 八劔神社でイベント

諏訪市小和田の八劔神社で
28日、諏訪地方の伝統技法と
デジタル技術を融合させた
「八つ縄文織り」と、水墨画
のコラボイベント「無限の広
がり」が始まった。諏訪にゆ
かりのある機織り職人の別府
ちなみさん(56)＝神奈川県＝
と水墨画家の龍全さん(41)＝
北海道＝が、作品計40点余を
展示。パフォーマンスや対談
ワークショップなどで奥深い
作品世界を伝える。30日まで。

作品は本殿神楽殿、社務所
に展示。八つ縄文織りは、綿
織物「諏訪小倉」の手織り技
法に、表計算ソフトを使って
柄の大きさを変化させる技術
を合わせ、自由にデザインで

きる特徴を持つ。
別府さんは、織り上げた生
地を中心に、基にして仕立て
た衣服と合わせて出品。深み
のある赤色の反物は、諏訪の
寺院に植わるモミジの紅葉に
着想を得て、1年余かけて6
色の絹糸で制作した。

戦国時代の武将・武田信玄
に興味を抱く龍全さん。武田
家も寄進をしていた八劔神社
の神楽殿での展示が実現し
た。諏訪明神の力が宿ったと
される「諏訪法性兜」をモチ
ーフにした甲冑で身を覆う信
玄、剣と龍神、広がる宇宙な
どの水墨画がそろう。
「八つ縄文織りが生まれた
諏訪で、地域の皆さんに見て

ほしい」と別府さん。龍全さ
んは諏訪明神の化身が龍神で
あると説明し、「歴史ある神
社に飾り、絵が喜んでい
ると話した。

宮坂清宮司は「神社は芸能、
芸術、文化の拠点である。古く
から伝わる織物も再現され、
感慨深い」と述べた。会場に
は八つ縄文織りの考案者で別
府さんの師匠、高木義一朗さ
ん(75)＝諏訪市＝も訪れた。
午前10時～午後3時。問い
合わせは別府さん(電話09
0・6547・7780)
へ。
(小山眞由美)